

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【公開番号】特開2010-221405(P2010-221405A)

【公開日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2009-67908(P2009-67908)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクを吐出するための複数のノズルを配列してなるノズル列を有する記録ヘッドと、前記記録ヘッドを搭載し、前記複数のノズルの配列方向と交差する走査方向に走査するキャリッジと、を有し前記記録ヘッドを記録媒体の同一領域に複数回走査することにより画像を記録するインクジェット記録装置であって、

前記記録ヘッドの記録位置のずれ量を前記走査方向の複数の位置で取得する取得手段と、

前記複数の記録位置のずれ量に基づいて、前記記録ヘッドからのインクの吐出タイミングを変更するように制御する制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記複数の記録位置のずれ量に基づいて吐出タイミングを変更した位置が、前記同一領域に記録する複数の走査においてそれぞれ異なるように制御することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項2】

前記記録位置のずれ量は、前記記録ヘッドで記録媒体上に記録された調整パターンの目標位置からのずれ量であることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記複数の走査ごとに異なる開始タイミングとなるように前記記録ヘッドのインクの吐出タイミングを変更することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記制御手段は、前記複数の走査ごとに異なる補正值を前記複数の記録位置のずれ量に加算して走査ごとの吐出タイミングの変更量を算出し、前記走査ごとの変更量に基づいてインクの吐出タイミングを制御することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の記録装置。

【請求項5】

前記キャリッジには、前記複数の記録位置のずれ量を取得するための光学式センサが搭載されていることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載の記録装置。

【請求項6】

記録媒体を支持するプラテンを有し、

前記記録ヘッドは、前記プラテンと並行に走査されることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記キャリッジは、複数の支持点で支持されたメインレールに沿って走査され、

前記取得手段は、前記複数の支持点の周囲を中心に前記複数の記録位置のずれ量を取得することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、インクを吐出するための複数のノズルを配列してなるノズル列を有する記録ヘッドと、前記記録ヘッドを搭載し、前記複数のノズルの配列方向と交差する走査方向に走査するキャリッジと、を有し前記記録ヘッドを記録媒体の同一領域に複数回走査することにより画像を記録するインクジェット記録装置であつて、前記記録ヘッドの記録位置のずれ量を前記走査方向の複数の位置で取得する取得手段と、前記複数の記録位置のずれ量に基づいて、前記記録ヘッドからのインクの吐出タイミングを変更するように制御する制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記複数の記録位置のずれ量に基づいて吐出タイミングを変更した位置が、前記同一領域に記録する複数の走査においてそれぞれ異なるようく制御することを特徴とする。